



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	4. 広報チーム : ピアサポート室外と室内への情報発信
Author(s)	水野, 君平; 満保, 裕太; 川原, 里奈 他
Relation	北海道大学ピアサポート活動報告書 (平成28年度版) p. 32-40
Issue Date	2017-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/65096
Type	report
File Information	04HokudaiPeerSupport_H28.pdf



4. 広報チーム

ーピアサポート室外と室内への情報発信ー

水野君平¹・満保裕太²・川原里奈³・口町和香⁴・栗原利奈⁵

1. はじめに

ピアサポート室の前で立ち止まって部屋を覗いてみたり、ピアサポート室前の掲示物を眺めたりしている学生がいる。そのような学生にピアサポーターが声をかけてみると、「ピアサポート室って、何をする場所ですか」という旨の質問が返ってくる。ピアサポート室は情報教育館 2 階に位置しているため、高等教育推進機構と北図書館を行き来する機会が多い総合教育部の学生はピアサポート室の前を頻繁に通る。しかし、室内では何をする場所か、あるいは何ができるのかを知らない学生も存在する。すべての学生がピアサポート室を利用するようになれば良いとまではいかないが、もし学生が「ピアサポート室を利用しない」という選択をする際には、ピアサポート室の意義を理解した上での選択であることが望ましい。また、現ピアサポーターの中には利用者の立場だった者もいて、悩みを相談したいと思っていながら、なかなか行動に移せなかったと話す者もいる。そのため、ピアサポート室利用者に対しても、気軽にピアサポーターに話しかけやすい雰囲気づくりは欠かせないと考えられる。

以上のことを踏まえ、今年度の広報チームは、ピアサポート「室外」と「室内」への情報発信が必要であるという問題意識の下、活動を行うこととした。

2. 利用者の声

2.1. 目的

利用者がピアサポート室に対してどのような印象をもっているのかを知り、それを今後の広報活動に活かす。また、利用者とピアサポーターとの交流を生み出すと同時に、利用したことがない学生にもピアサポート室の雰囲気を知ってもらうことを目的とする。

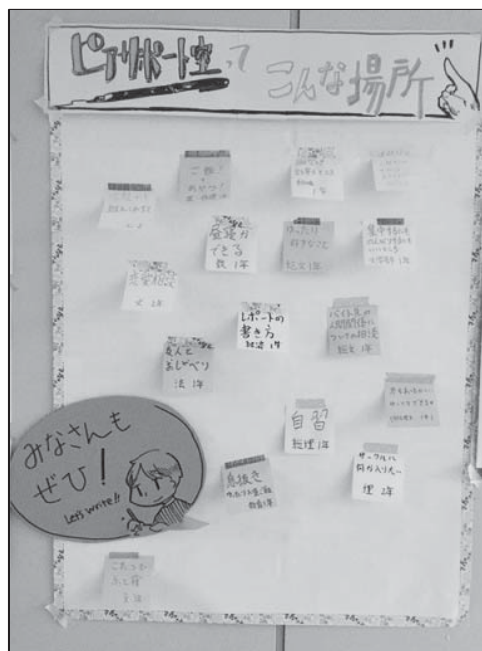


図1 利用者の声

1 北海道大学教育学院博士 1 年
2 北海道大学教育学部 3 年
3 北海道大学教育学部 3 年
4 北海道大学理学部 2 年
5 北海道大学農学部 2 年

2.2. 方法

利用者には、大きめの付箋紙に、ピアサポート室に対する印象（または利用目的）を書いてもらった（図 1）。付箋は室内の机の上に置いておき、シフトに入ったピアサポーターが、利用者に適宜記入を勧める。ピアサポート室外の廊下の壁に模造紙を用意し、利用者の声のコーナーとして、そこに付箋を掲示する（図 2）。ピアサポート室付近には北図書館があり、廊下には北図書館の利用者も多く通行する為、ピア室の利用者のほか、北図書館の利用者にも見てもらうことを図る。利用者が回答しやすいよう、あらかじめ記入例の付箋を模造紙に貼っておいた。「利用者の声」は、11 月の月上旬から設置した。



図 2 ピアサポート室前

2.3. 結果

利用者 5 名から回答を得た。回答内容としては「ゆったり好きなこと」、「自習」、「昼寝ができる」、「喧噪から離れられる」、「進路相談・人格形成・世間話」があった。

2.4. 考察

本企画で評価できる点を 3 つ挙げる。まず、ピアサポート室が利用者に意見を募り、双方向のコミュニケーションを行おうとしたことである。ピアサポーターが利用者に話しかけるきっかけになった。次に、ピアサポート室の利用の活用方法の具体例を提示できたことである。ピアサポート室の利用目的がある程度自由に設定できることが、かえって何が室内でできるのかを分かりにくくしている可能性も考えられる。そのため、具体例を提示できたことで、利用者がピアサポート室を利用するイメージを抱きやすくなったのではないかと推測される。最後に、廊下の壁スペースを効果的な活用について考えるきっかけになったことである。ピアサポート室前の廊下は、頻繁に人が通ることが多いことから、広報チーム内で引き続き掲示物について検討していく必要がある。課題としては、回答の数が少なかったことが挙げられる。今後は、付箋などの物を置く位置、掲示物のデザイン、ピア室の雰囲気づくり、ピアサポーター内での企画趣旨の共有、コミュニケーション能力の向上を考えていくべきである。

3. Twitter の利用

ピアサポート室は web での広報として、北海道大学サイト中の web ページの他に Facebook と Twitter (https://twitter.com/peersupport_hu) のアカウントを有している。Facebook は定期的にイベントの案内等に用いており、Twitter は企業アカウントを例にして、イベントの案内だけではなく日常風景の投稿にも用いている。ここでは、Twitter アカ

ウントについての概要を紹介する。

2014 年に作成されたピアサポート室の Twitter アカウントは、速報性の高い情報を発信すること、日常的にピアサポート室を広く知ってもらうことを目標に運用されている。現在、通常業務に当たることができるピアサポーター10 名程によって管理・運用されており今年度からはピアサポート室の開室時間につき 1 回のツイートを中心に心がけている。アカウントは現在フォロー数 737、フォロワー数 481、総ツイート数 242 である（図 3）⁶。主なフォロワー・フォロワー先は北海道大学の学生⁷、学生団体、他大学のピアサポート室である。主なツイートは大きく分けて 2 種類あり、ピアサポート室やその関連する機関・団体の告知（図 4）や、ピアサポート室の様子などの日常的なツイートである（図 5）。公式な情報を「硬く」発信するだけでなく日常的な「緩い」情報を発信することは、「人間らしい暖かさ」を与えることができる。このことは web 上の広報として効果があると近年評価される傾向にある⁸ことから、重要性が示されていると考えられる。



図 3 アカウントのトップ画面

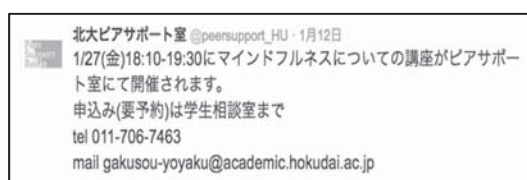


図 4 イベント告知

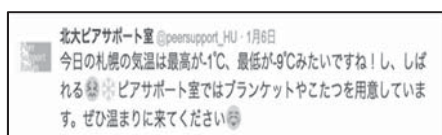


図 5 日常的なツイート

4. 広報誌「えるむ」の掲載

「えるむ」は、年に 3 回発行されている北海道大学の学生向け広報誌である。「学生の学内外における活躍状況の紹介や学生から大学に寄せられた意見とその回答…(中略)…など、学生生活全般⁹」を内容としている。今年度、ピアサポート室は同誌へ毎回寄稿させて頂い

⁶ 2017/01/18 時点

⁷ 今年度は、北海道大学の合格発表後に「北大 合格」という検索ワードで検索し、ヒットしたアカウントをフォローすることをおこなった。

⁸ 毎日新聞「シャープ自虐ネタ評判 フォロワー30 万人超 2016 年 6 月 10 日夕刊」

⁹ <https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/elm.html> より引用

北海道大学 HP ホーム>広報・公開>広報誌>学生向け広報誌「えるむ」（訪問日 2017 年 1 月 15 日）

たが、その文章はその都度異なっている。本項目では、広報誌「えるむ」への寄稿文を概観する。

4.1. 2016 年 4 月号(第 151 号) (図 6)

ピアサポート室は「学生相談窓口」の 1 つとして、学生相談室、保健センター、ラーニングサポート室、キャリアセンター、特別修学支援室、ボランティア活動相談室とともに紹介されている。文章内容として、ピアサポーターが大学の先輩であること、ピアサポート室が休憩室の役割を担っていること、大学内外についての相談ができること、が挙げられる。この時期は新入生が大学についての機関について、未知な部分が多いことから、文章としてはピアサポート室についての基礎情報の提供のみになっている。

学生同士の助け合い **ピアサポート室**

ピアサポート室(ピア室)では、みなさんと同じ北大生(学部生・大学院生)がピアサポーターとして相談に応じています。広いオープンスペースで読書や自習をしたり、お昼ご飯を食べたり昼寝したり。思い思いに過ごせる憩いの場で、学生同士、同じ目線で勉強やサークル、アルバイトのこと等色々な話ができます。北大生が寄付したたくさん本もありますので、一人でのんびりしたい気分の時にもゆつたりと過ごすことができます。授業の合間の休憩にも気軽に利用ください。

■場所
情報教育館 2階

■開室時間
12:00~16:30(土・日・祝日除く)

図 6 2016 年 4 月号(第 151 号)p16 中段

4.2. 2016 年 9 月号(第 152 号) (図 7、図 8)

本号においては 2 か所で、ピアサポート室についての記事がある。1 つに、「学生イベント情報」として、「ピアカフェ」¹⁰が紹介されている(図 7)。2 つに、大学生活での悩みを抱える「大志くん」とピアサポーターとの問答形式での紹介文になっている(図 8)。本号は第 2 学期授業が開始する前月の発刊号であること、総合文系・理系の学生が学部・学科等移行について考え始める時期と推測されることから、太志くんの悩みを、「学部・学科等移行先を一つに絞ることができない」に設定した。ピアサポーターの回答の中では、「とらのまき」¹¹、「部活・サークル大辞典」¹²が紹介されており、ピアサポート室の活動がより具体的に述べられている。

¹⁰ 詳細についてはイベントチームの項目を参照

¹¹ 詳細については情報収集チームの項目を参照

¹² 詳細については情報収集チームの項目を参照

ピアカフェ

情報教育館の2階、高等教育推進機構と北図書館の間にあるピアサポート室は、学部2年生以上の先輩サポーターに学生生活における悩みを相談したり、ご飯を食べたり、勉強したり、お昼寝したり、自由に過ごせるスペースです。そんなピアサポート室では、年に数回「ピアカフェ」というイベントを行っています。今回は10月24日(月)から11月4日(金)までの2週間、来室くださったみなさんにコーヒーや紅茶をサービスいたします。また、10月31日(月)にはハロウィンにちなんだイベントも企画中です。

勉強したいあなた、友達とお話したいあなた、後期の授業開始から約1ヶ月、ちょうど疲れが出始める10月末に、ピアサポート室で飲み物を飲みつつ、ほっと一息ついていきませんか？

ピアサポート室

開室日時 月～金曜日(祝日・休日を除く) 12:00～16:30
(ピアカフェは13:00～16:30)

問合せ先 学務部学生支援課 学生支援企画担当
(高等教育推進機構1階②番窓口)



ピアサポート室は、北図書館のとなりという
皆さんがよく通る場所にありながら、
ちょっと敷居が高い感じがして今まで利用したことがない
という人も多いのではないのでしょうか？
実はピアサポート室に来たからといって、ピアサポーターと
話さなくてはならない…ということはなく
自由に利用していただけます！
ぜひ一度ピアカフェ期間にでも
いらしてください(^^)

ピアサポーター
あたか こうたろう
工学部2年 安宅 耕太郎さん

図 7 2016 年 9 月号(第 152 号)p26 下段

先輩学生に気軽に相談!ピアサポート室

第2学期が始まり、移行先の学部を考え始めた大志くん。興味のある学部がいくつかあり、移行ガイダンスにも参加してみたが、なかなかひとつに決められず毎日も過ぎていた。そんな時、情報教育館2階の廊下を歩いていると、学生が集まっている部屋があったので、立ち寄ってみた。

大志くん ここは何の部屋かなあ・・・

ピアサポーター こんにちは!どうしましたか?

大志くん あっ、こんにちは!あなたは・・・?

私は「ピアサポーター」です。ここ、「ピアサポート室」でみなさんの学生生活のお手伝いをしています。ここでは、先輩サポーターが学生さんの相談にのったり、イベントを企画したりしているんですよ。

大志くん ピアサポート室っていうんですね。初めて来ました!ちょうど悩んでいたところなんですけど、学部移行のことなんか相談できるのでしょうか・・・?

ピアサポーター そうですね、色々な学部のピアサポーターがいますので、体験談を聞くことができますし、先輩達の学部ごとの時間割を掲載した「とらのまき」という冊子もついていますので、よかったら見てみませんか?

大志くん そんな冊子があるんですか、ぜひ見せてください!先輩の話も聞きたいな〜!あっ、あと、もうひとつ聞きたいことがあるんですけど・・・

ピアサポーター 私でよければ相談にのりますよ。

大志くん 春にサークルに入りそびれちゃったんですけど、今からでも入れるサークルはないでしょうか?

ピアサポーター それなら、各サークルの部員募集チラシを集めた「サークル大辞典」がありますよ。参考になると思います。

大志くん わ〜、ありがとうございます。見てみます〜!

1時間後・・・

大志くん ……今日はとっても助かりました!実際に学生生活を送っている先輩サポーターさんだから、質問しやすいし、居心地もよくて楽しかったです!また相談したいことがあったら来てもいいですか?

ピアサポーター ピアサポート室は、平日12:00~16:30に開室しています。北大生であれば誰でも利用できますよ。名札をさげている学生がピアサポーターですので、いつでも気軽に声をかけてくださいね。

大志くん ありがとうございます!今度は友達も連れて利用しに来ます〜!



図 8 2016 年 9 月号(第 152 号)裏表紙

4.3. 2016 年 12 月号(第 153 号) (図 9)

前号までとは異なり、学生にピアサポート室の利用を促すものではなく、新規ピアサポーター募集の文面となっている。新規サポーターに求めるものとして、社交性、奉仕精神、コミュニケーション能力への向上心、大学生活でのやりがいを探していること、が挙げられている。

ピアサポーター

ピアサポート室(ピア室)では、来年度から一緒に活動する新規メンバーを募集しています!

ピア室を訪れた人が抱える悩みや質問に、同じ学生としての立場から助言や支援を行う相談業務の他、ピアカフェ等のイベントの企画、ピア室の運営等を行います。ピアサポーターになると、学生同士だけでなく、教員、職員とも多く接するので、普通の大学生活とは違った経験ができます。「人と接することや、人の役に立つために働くのが好き!」という方ももちろん、「もっとコミュニケーション力をアップしたい。」「大学生活で何か熱中して取り組めるものを探している。」という方も大歓迎です!興味があるあなた!まずは気軽にピア室に来て、ピアサポーターにお声をください。体験感をふまえた業務の詳細をご説明します。

.....
月～金曜日(土・日・祝日を除く) 12:00～16:30

応募条件
北海道大学に在籍している2年生以上の学部生もしくは、大学院生

応募方法
ピアサポート室(情報教育館2階)でピアサポーターに声をかけてください。
●E-mail
peer-support@academic.hokudai.ac.jp

図 9 2016 年 12 月号(第 153 号)裏表紙下段

5. 「話しかけてもええんやで？」

5.1. 目的

ピアサポート室は「つながり」を作る場所であるという考えの下、ピアサポーターと利用者とのコミュニケーション機会を増やすことを目的とした。

5.2. 方法

利用者がピアサポーターに話しかけることを後押しする文章を記載した、A5 サイズのプラカードを利用者の机に設置した(図 10)。



図 10 プラカード

5.3. 結果

机に座る時に自然に目に入ることから、利用者に対して「ピアサポーターは話しかけていい相手である」ことをアピールできていると考えられる。しかし現状では設置期間が短いため、その効果については今後も検討を続ける必要がある。

5.4. 今後の課題

ピアサポーターと利用者間のコミュニケーション機会を増やすという目的に対して、今回の活動では多少のアピールにはなっているが十分に達成できたとは言えない結果となった。今後は「ピアサポーターと利用者間のコミュニケーション」として目指す形を定め、それを達成する企画を検討していくことが必要となる。

6. うおーるぎやらりー

6.1 目的

ピアサポート室での利用者との交流やピアサポーターのことを知ってもらうために壁に掲示をすることにし、「うおーるぎやらりー」を企画した。この企画は現在も進行しており、ここでは現時点での「うおーるぎやらりー」の活動報告をする。

6.2. 方法

「うおーるぎやらりー」は元々先輩ピアサポーターが「くるっとほっかいどう」として北海道で行ったことのある場所を紹介していた。しかし、「くるっとほっかいどう」は、更新されていない状態が続いていた。そこで、元の「くるっとほっかいどう」のアイデアを活用した新たな掲示を企画した。行ったことのある場所を北海道に限定せず全国に拡大して、現在在籍しているピアサポーターの旅行体験を紹介することにした。また、現在はピアサポーターの記述のみであるが、利用者にも記述をお願いして手書きで随時行っていく。全ての都道府県を埋めて、まさしく日本一周するというのが目標である。

まず掲示物のフォーマットを作った。実際に行った場所、写真、説明、名前を書く欄を作った。説明は短く 20 字程度のもので、利用者が書きやすい簡単なものとした（図 11）。

6.3. 今後の課題

利用者が写真を提供する労力を考慮すると、写真の部分はイラスト中心になることも考えられる。また、協力して頂ける利用者の数、企画の完成時期等、不明な点がいくつか存在する。そのため来年度も継続して実施する予定である。

うおーるぎゃらりー めざせ日本全国制覇！くるとJAPAN

香川県

うどん屋



ひとこと

学会でいきました。香川
といえば、うどんと骨付鳥
がサイコーです(´・ω・｀)

ペンネーム：サポーターみずの

うおーるぎゃらりー めざせ日本全国制覇！くるとJAPAN

富山県

雨晴海岸



ひとこと

初日の出は見られ...な
かったけど冬の日本海っ
ていいですね。

ペンネーム：らいとくん

うおーるぎゃらりー めざせ日本全国制覇！くるとJAPAN

愛知県

名古屋城



ひとこと

シャチホコが自分の体よりも大きくて、
びっくりしました！(ﾟдﾟ;)
刺身にして食べてみたいです(笑)

ペンネーム：
ピアサポーター 満保

うおーるぎゃらりー めざせ日本全国制覇！くるとJAPAN

沖縄県

古宇利島



ひとこと

奥の方の岩がハート型と
いうことで、パワースポッ
トになっています

ペンネーム：ぼんでふ

図 11 うおーるぎゃらりーの例